

ふるさと活動隊 鯖江成果報告

チームだんね 静 真穂
 足立 諒
 薄井 健人
チームめがにゃん 石川 絢菜
 高島 洋和
 吉田 瑞穂

目次

- ▶ チーム名/メンバー
- ▶ 目次
- ▶ 市長表敬
- ▶ 矢代操像
- ▶ めがねミュージアム
- ▶ にしやま動物園
- ▶ ラポーゼ河和田
- ▶ 交流会
- ▶ チームだんねフィールドワーク
- ▶ かわだ雑学塾
- ▶ 漆器体験
- ▶ チームめがにゃんフィールドワーク
- ▶ アートシール貼り
- ▶ 八幡神社の清掃
- ▶ 和紙の里
- ▶ めがね工場
- ▶ T S U G I 取材
- ▶ 意見交換会@cotoba
- ▶ 河和田くらしの祭典2016
- ▶ キャンドルアート
- ▶ 河和田くらしの祭典への提言
- ▶ 来年への提言

市長表敬

- ▶ 鯖江に到着後、すぐに牧野百男市長を表敬
- ▶ 市長は豊饒としており、とてもお話上手な優しい方でした
- ▶ 一時間ほど北陸新幹線などについて話しました



矢代操胸像・住宅跡地訪問

明治大学の創立者の一人・矢代操の胸像と住宅跡地で記念撮影



西山動物園

- ▶ 無料で訪問できる動物園で、レッサーパンダが有名
- ▶ 今年3月には「レッサーパンダのいえ」OPEN！
- ▶ テナガザル、タンチョウなど飼育が難しく全国的に珍しい動物を見ることができる



ラポーゼ河和田

- ▶ 「かわだ温泉」は肌がすべすべになる重曹泉と、動脈硬化防止に効能のある芒硝泉が同時に含まれる日本でも珍しい温泉
- ▶ 露天風呂は夜にはライトアップされ、竹林を幻想的かつ開放的に眺めながら温泉につかることができる



地元の方との交流会

- ▶ 初日の夜には市長、片山と河和田の区長・副区長さんと交流会が行われた
- ▶ 「鯖江ドッグ」や「へしこ」「やまうにたこ焼き」など食べきれないほどたくさんの差し入れを頂いた



河和田アートキャンプ

- ▶ きっかけは福井豪雨の災害支援から
- ▶ 毎年多くの学生が参加、卒業生は1600人以上にも及ぶ
- ▶ アートという言葉に縛られない幅広い活動
- ▶ 学生自身が主体となって活動！
「やりたいことをやろう」



漆器絵付け体験

うるしの里会館にて



河和田雑学塾

- ▶ 地元の方向けに様々なテーマで開講
- ▶ 河和田の魅力をトークショー形式で語る！
- ▶ 移住者の方々の様々なお悩みも！？
- ▶ 地域の人々が輝ける場としての「雑学塾」！！

越前漆器

▶ 1500年の歴史

第26代継体天皇が皇子だったころ、冠の修理を片山地区の塗師に命じた。
その技術が大変優れていたことから、この地区で漆器づくりを行うように
奨励したことがきっかけ

▶ 圧倒的なシェア

業務用漆器の全国シェアは8割

▶ 二本柱

伝統的な作り方と、量産できる新しい技法



漆器づくりの工程〈木製漆器〉

①木地

お椀などの丸物の場合、ろくろを使って形を作り出す
お膳などの角物の場合、木を切り、組み立てる

②塗り

下塗りと上塗り
塗りと研ぎを繰り返す、均一の厚さにする

③加飾

筆で絵を描く蒔絵
線を掘って絵を刻み込む沈金



漆器づくりの工程〈合成樹脂〉

①合成樹脂成型

プラスチックを熱で加工

②塗装

スプレーによって化学塗料を吹き付ける

③印刷、転写

原画を刷り込む、絵を写し込む

中道シールアート

シール貼りのお手伝い

草履の形のシールで

お祭りがより明るい雰囲気！



八幡神社の清掃

祭典の夜に行われるキャンドルアートの会場、クイズラリーのポイントにもなっている八幡神社

Before



After



越前和紙の里

江戸時代中期の紙漉き家屋を移築復元した「卯立の工芸館」では、伝統工芸士が昔ながらの道具を使って和紙を漉く様子や、屋外での和紙天日干しなど、和紙が作られる一連の工程を見ることができる、全国でも唯一の場所となっています。

女性の伝統工芸士さん



紙漉き体験



谷口眼鏡

1996年にオリジナルブランド「TURNING（ターニング）」を立ち上げた。掛け心地の良さを追求したフレーム作りを行う。



素敵な出会いもありました😊

元木地屋さんの作業場の見学



漆を塗る前のお碗をいただきました！⇒



〈3日目 夜〉

COTOB A（伝統工芸みらいプロジェクトの活動拠点）にて祭典の打ち合わせや鯖江市の現状・PR方法について話した。

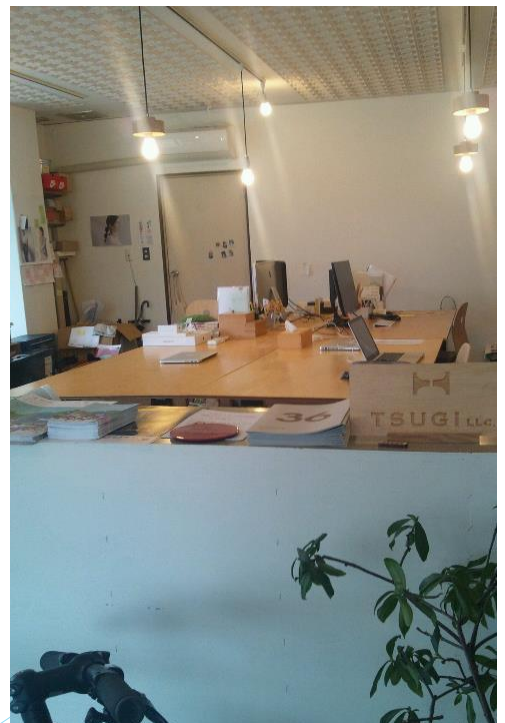


・ TSUGIについて

- ▶ 県外からの若手6人が始める。
- ▶ 目的は「創造産地」



地場の技術を使った商品の企画、
作製、販売を行う。



・河和田くらしの祭典

- ▶ 9月17、18日に行われる河和田の祭り。
- ▶ SNSを使っでの広報、SNSフォト、及び絵付け体験の受付を行う。
- ▶ 鯖江市のJK課等多くが出店する。



・キャンドルアート

- ▶ 神社の中で蠟燭を立てて絵を作る。
- ▶ 完成後には多くの方が来場。

河和田くらしの祭典への提言

- ▶ キャンドルアートなどの見せ物にもっと人が来てほしい
 - ➡ 町内アナウンスでの宣伝
- ▶ 雨が降った場合の貸出傘あるいは安価な傘のコーナーの設置
- ▶ シールアートにレアシールを混ぜて写真を撮ってもらい、それを集めてモザイクアートにする
- ▶ 河和田と片山の接続
 - ➡ 二地区の案内所間により多くのブースを増やす、定時に山車を引く
- ▶ 来場者の会場に留まる時間を延ばしたい
 - ➡ 休憩所の増設

今回の反省「準備不足」

- ・資料収集はできる限り行ったが……
「手伝い」←「何をすればいいの…？」
「ブレンストーミング！」←「使えるのか…？」
- ・現地で初めて具体的内容を知るが……
「SNSで発信せよ！」←「Facebook使ったことない…」
「写真撮りませんか！」←「Facebook使ったことない…」
- ・地元の人には喜んでくれたが、**来たことに対してであり、
したことに対してではなかった**

過去から学び、 現在から学び、 未来へと教える

まず、過去からの教え

昨年の隊員から

彼らは鯖江で何をしたのか？
それが明治大学の学生である意味は何なのか？
「ふるさと活動隊」とは何なのか？

の答えを見つけるため、ヒントを得る

次に、現在からの教え

今年の天童・鳥取担当の隊員から

どんな貢献をしたのか？
彼らの活動は**双方が満足**したのか？
「**ふるさと活動隊**」とは何なのか？

の答えを見つけるため、ヒントを得る

そして、未来への教え

来年の隊員に

なぜわたしたちは消化不良に終わったのか？
あなたが消化不良に終わらないためには？
「**ふるさと活動隊**」とは何なのか？

の答えを見つけさせるため、ヒントを与える
→明確な**目的**の設定

旅行で行ったり、一人勇敢にボランティアに行ったりするのはよくある話だ

しかし、わたしたちは明治大学の「ふるさと活動隊」である

旅行ではなく、ボランティアでもない、「ふるさと活動隊」として各地に行くのはなぜなのか

ありがとうございました

平成28年ふるさと活動隊
鯖江市担当チーム一同

